JIS K 5663 1種
合成樹脂エマルションペイント

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

水性反応硬化形エマルション塗料

SUISEI KEN-ACE

ニッペ 水性ケンエース

Basic & New
NIPPON PAINT
豊かな心で 未来をひらく

室内環境指針・目標対策

日本で唯一の数値としての指針を出している厚生労働省指定の揮発性有機化合物を配合していません。また、日本塗料工業会の目標基準をすべて満たしています。

■厚生労働省指定の揮発性有機化合物の室内濃度に関する指針値に合格

対象化学物質	室内濃度指針値（値は25℃での換算）	水性ケンエース
ホルムアルデヒド	100μg/㎥（0.08ppm）	配合せず
トルエン	260μg/㎥（0.07ppm）	配合せず
キシレン	870μg/㎥（0.20ppm）	配合せず
パラジクロロベンゼン	240μg/㎥（0.04ppm）	配合せず
エチルベンゼン	3800μg/㎥（0.88ppm）	配合せず
スチレン（モノマー）	220μg/㎥（0.05ppm）	配合せず
フタル酸ジ-n-ブチル	220μg/㎥（0.02ppm）	配合せず
クロルピリホス	1μg/㎥（0.07ppb）成人 0.1μg/㎥（0.007ppb）子供	配合せず
テトラデカン	330μg/㎥（0.04ppm）	配合せず
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120μg/㎥（7.6ppm）	配合せず
ダイアジノン	0.29μg/㎥（0.02ppm）	配合せず
アセトアルデヒド	48μg/㎥（0.03ppm）	配合せず
フェノブカルブ	33μg/㎥（3.8ppm）	配合せず

■日本塗料工業会の健康リスクに関する目標基準（室内塗料）

設計条件	目標値	水性ケンエース
VOC	1％以下	合　格
芳香族系溶剤	0.1％以下	配合せず（※）
アルデヒド類	0.01％以下	配合せず（※）
重金属（鉛、クロム等）	0.05％以下	配合せず（※）
発癌性物質 生殖毒性物質 変異原生物質	0.1％以下	配合せず（※）
感作性物質	0.1％以下	配合せず（※）

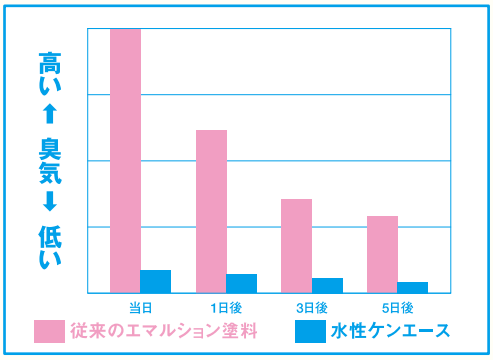
※不純物として、ごく微量検出される可能性があります。

室内環境対策性能

塗装中、直後から放出されるVOC（※）とにおいは、ほとんどありません。

※VOC：沸点260℃以下の揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds）

■超低臭　塗料から放出されるにおいの絶対量が初期から圧倒的に少ない。



※当社従来品との比較

■やに止めレベルの目安

水性塗料のため、あらゆる条件でやにが止められる訳ではありません。以下の色相を目安に注意して施工してください。

（F25-90D）
日本塗料工業会 色相見本

水性ケンエースで止まるやには左の色相が目安です。ただし、施工条件（温度、下地の状態）などにより止まらない場合がありますので予めご了承願います。左の色相見本より著しいやにが付着している場合は、しっかり水拭きをしてやにを除去してから施工してください。

やに止めを目的とする際の注意事項と目安

- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。
- 希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥（目安：23℃ 6時間）させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。
- しみ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。

■基本性能

試験項目	規　格	水性ケンエース
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅いかたまりがなくて一様になるものとする。	合　格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業時間に支障があってはならない。	合　格
低温安定性（-5℃）	変質してはならない。	合　格
乾燥時間 h	2以下（23℃）、4以下（5℃）	合　格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合　格
隠ぺい率 %	93以上（白および淡彩）	合　格
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする。	合　格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする。	合　格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする。	合　格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合　格
屋外暴露耐候性	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合　格
臭気（社内規格）	従来の合成樹脂エマルションペイントと比べ極めて少ないものとする。	合　格
透湿性	ASTM-E 96-66	200g/㎡・24Hr

■主な用途

戸建住宅

マンション

教育・保育施設

介護・福祉施設

非住宅ビル

店　舗

■豊富なカラーバリエーション

豊富な原色で調色が自在にできるので、カラーバリエーションは豊富です。

種　類	容　量	原色（色見本）	白：原色（色見本）
白（つや消しのみ）	・・・16kg・4kg		
ブラック	・・・・・・・・・・・16kg・4kg		9:1
オーカー	・・・・・・・・・・・・・・・ 4kg		10:1
インディアンレッド	・・・・・・・・・ 4kg		10:1
シャニンブルー	・・・・・・・・・・・ 4kg		18:1
シンカシャレッド	・・・・・・・・・・ 4kg		7:1
パーマネントエロー	・・・・・・・・・ 4kg		10:1

※この見本は印刷のため、実物とは異なる場合があります。

■調色範囲

色　域	つや消し
淡　彩	○
中　彩	○
濃　彩	○

あの「ケンエース」が水性になって更に使いやすくなりました。

Multi Function

1 環境性能 Ecology

VOC量は日本塗料工業会目標基準である1%以下を実現。厚生労働省が指定している室内環境有害化学物質は一切配合しておりません。また、臭気も大幅におさえていますので、「一般住宅」から「高齢者向け住宅」「介護 福祉施設」などの塗装に安心してご使用いただけます。ホルムアルデヒドの放散等級はF☆☆☆☆なので、シックハウス症候群なども気にする必要はありません。

2 仕上り Finish

落ち着きのあるつや消し仕上げは、癒しのある表情を演出します。開放廊下などの彩光が穏やかに反射します。

3 汚染除去性 Easy cleaning

特殊アクリルエマルションと微粒子顔料により、塗膜に硬度と緻密性を持たせています。水性ケンエースはよごれが塗膜に浸透しにくく、付着したよごれも従来のエマルション塗料に比べ容易に拭き取ることができます。もちろん防藻・防かび機能もあるため、生物汚染などのよごれからもまもられ、いつも清潔です。

本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。
JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

4 付着力／透湿性 Adhesion

マイクロエマルション樹脂によるプロテクションシール（浸透固着）効果が、従来の水性塗料では実現することのできなかったレベルで、優れた密着力を発揮します。更に優れた透湿性があるため、膨れやはがれの防止効果があります。
また、既設の塩化ビニールクロスの上にも直接塗装することができますので、あらゆる内部壁面に同じ塗装仕様でできます。

※一部条件ではシーラーが必要な場合があります。注意事項をご参照ください。

5 隠ぺい性 Hiding Power

業界No.1の配合分散技術と特殊顔料により、従来よりも高い隠ぺい性（かぶり／とまり）を実現しました。

6 水性なのにヤニ止め効果! Tobacco Stain Covering

水性塗料では最高レベルのヤニ止め効果があるため、軽微なヤニであれば止めることができます。

※ヤニ止めレベルの目安をご参照ください。
※特許出願中

7 防藻・防かび Algae & Mildew resistance

藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。

※オプションで抗菌機能も付与できます。

国土交通大臣認定	
認定番号	区分
NM-8585	不燃材料
QM-9816	準不燃材料
RM-9364	難燃材料
塗料塗装 (社)日本塗料工業会	

「環境配慮」「安全」

臭気を嫌う軒天塗装や内部の塗り替えに最適な
低VOC塗料の誕生です。

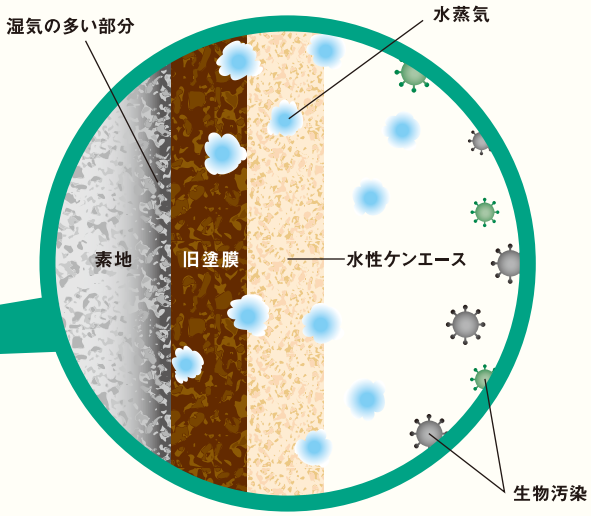
Cure Face（癒しのある表情）

"Cure Face"を演出する秘密
それは優れた性能の裏付けを意味しています。

※イラストは一般的な開放廊下のイメージです。

水蒸気を外部に排出!!

優れた透湿性により、水蒸気を絶えず外部に排出するため、膨れやはがれの防止効果があります。



藻・かび（生物汚染）を寄せつけない!!

藻やかびを寄せつけないので、清潔な状態が維持できます。

「水性ケンエース」なら使って安心。
みなさまの生活空間に
癒しと和みの空間をご提供することが可能です。

私は「健康」「環境」に配慮した材料で施工します。

SUISEI KENACE
PEOPLE'S CHOICE

「見えないところだからこそ細心の注意を払う必要性がありますよね。」

「塗り替えの際に、施工中の臭いもほとんどなく子供が嫌がりませんでした。そういった材料を勧めてくれた親切な職人さんに心から感謝しています。」

■塗装仕様書

適用下地と旧塗膜

モルタル、コンクリート、PC板、押出成形セメント板、ブロック、スレート、木毛板、木部、鉄部、かき落しモルタル、塩ビクロス面、および各種旧塗膜面

※素材によっては、シーラーが必要になります。施工上の注意事項と要点をご参照ください。※鉄部などの金属面にはさび止め塗料を下塗りに使用してください。

■平滑面

工　程	塗料名	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率	塗装方法
素地調整	新　設　面 ●エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。 ●吸い込みの著しい下地には、吸い込み止め、付着確保のためニッペ水性カチオンシーラーを上塗りの前にご使用ください。 塗　替　面 ●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。 ●粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。 塩化ビニールクロス面 ●塩化ビニールクロスのめくれ、浮き、破れなどは十分に補修し、油よごれ、水溶性の汚染物などは中性洗剤で拭き取り、さらにウエスで水ぶきして乾燥した面にしてください。					
上塗り①	ニッペ水性ケンエース	0.12～0.14 注)	2時間以上	水道水	2～8%	ウールローラー、はけ エアレススプレー
上塗り②	ニッペ水性ケンエース	0.12～0.14 注)	―――	水道水	2～8%	ウールローラー、はけ エアレススプレー

注)「水性ケンエース」の塗付け量は、0.10kg/㎡/回です。　※使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量　※塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

■リシン面(軒天など)

工　程	塗料名	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率	塗装方法
素地調整	塗替面 ●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。 ●粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。					
上塗り①	ニッペ水性ケンエース	0.16～0.20	2時間以上	水道水	2～8%	ローラー、はけ エアレススプレー
上塗り②	ニッペ水性ケンエース	0.16～0.20	―――	水道水	2～8%	ローラー、はけ エアレススプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。
(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)(特に旧塗膜がリシン面などの粗面の場合、塗付が大幅に増えますので試験塗装などして確かめてください。)
※かび発生面に塗装する場合は、必ず以下の処理を行って塗装してください。1)5%次亜塩素酸ソーダ水で殺菌処理してください。　2)処理剤塗付後は必ず水洗いをし、十分に乾燥させてください。
※塗料を厚く付けすぎると、割れが発生する場合があります。必ず使用量をおまもりください。　※弾性塗膜の塗り替えには使用しないでください。
※繊維質の壁面、耐火被覆用ケイカル板、ロックウールなど表面が非常にぜい弱な素材には塗装できません。　※吸音板塗替え用高顔料分塗材(シールマットなど)の塗替えには使用できません。
※つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので試し塗りをしてから施工いただきますようお願いいたします。
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

施工上の注意事項と要点(詳細な内容については、製品使用説明書などにてご確認ください。)

・塗装場所の気温が5℃未満もしくは、湿度が85%以上または換気が十分ではなく、結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
・外部および準外部の塗装で降雨、降雪のおそれのある場合および強風時は塗装を避けてください。
・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分行ってください。
・施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。
・旧塗膜の劣化が著しい場合や著しい吸い込み面へは、下塗りにニッペ水性カチオンシーラーをご使用ください。
・外部新設の押出し成形セメント板、GRC板などは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー㊊をお使いください。
・外部、内部でもコンクリートのアルカリが強い場合、もしくは珪酸カルシウム板に塗装する場合はニッペ水性カチオンシーラーを下塗りとしてご使用ください。
・ゴムパッキン、プラスチックなど可塑剤を含むものには塗装したり、塗膜が直接触れないよう注意してください。
・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化したのちに行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはがれ、収縮割れが起こることがあります。
・ウエスなどで強く擦った場合、特に濃彩色において色が付着するおそれがあります。強く擦られるような部位への塗装はなるべく避けてください。
・色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが乾燥すると元に戻り、塗膜性能上は問題ありません。
・塗装後、乾燥不十分な状態で降雨、結露がありますと白化、しみが残ることがあります。
・低温、高湿度、通風のない場合は白化、しみが残ることがあります。
・笠木、天端など長時間水が滞留する場所では塗膜の白化、膨れなどが発生することがあります。
・たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
・著しい結露の場合は、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出する場合もあります。著しい結露が予測される場合は、ケンエースG-Ⅱなどの溶剤系塗料での塗装をおすすめします。
・蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れが更に拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。
・各工程の塗装間隔は、所定の塗り重ね乾燥時間を厳守してください。
・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH一2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。)
・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こりますので注意してください。
・よごれ、きずなどにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
・上塗りは反応硬化タイプのため、使用後のはけなどはできるだけ早く洗浄してください。固まった場合はラッカーシンナーで洗浄してください。
・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
・塩ビゾル鋼板の上の塗装は避けてください。
・油汚れの著しい場合は割れ・はがれを起こす場合がありますので中性洗剤でしっかり油分を落としてから施工してください。
・素地の状態が粗面であったり、塩化ビニールクロスの模様による凹凸が大きい場合、塗付量は多くなります。
・塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロス面で面あわせするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくることがありますのでクロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで押さえておくと安心です。
・布クロス、紙クロスや汚染防止クロス(シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス)には塗装できません。
・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

安全衛生上の注意事項　ニッペ水性ケンエース白

横倒禁止

・本来の用途以外に使用しないでください。
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
・飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
・取り扱った後、手を洗ってください。
・粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	強い眼刺激／遺伝子疾患のおそれの疑い／発がんのおそれ／呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ／水生生物に有害(急性)／長期的影響により水生生物に有害

「塗装の知識」「工事のヒント」「業界の市場動向」など、プロの仕事に役立つ塗装の情報紙。
ペイントかわら版読者募集! 無料
ケータイ 読者登録は、QRコードからカンタン入力でお申込みいただけます。
※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。
http://paintkawaraban.jp/form/

日本ペイント株式会社
お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2014年9月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●「本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。」
●「©Copyright2014 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.」

■詳しい情報はホームページで　日本ペイント　建物　検索　http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.
NS-S081
NB140912T
2014年9月現在